

トラック輸送情報（平成19年3月分）

平成19年6月6日

国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課

担当：山本、安達 内線28315

直通：03-5253-8344

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

1. 特別積合せ貨物

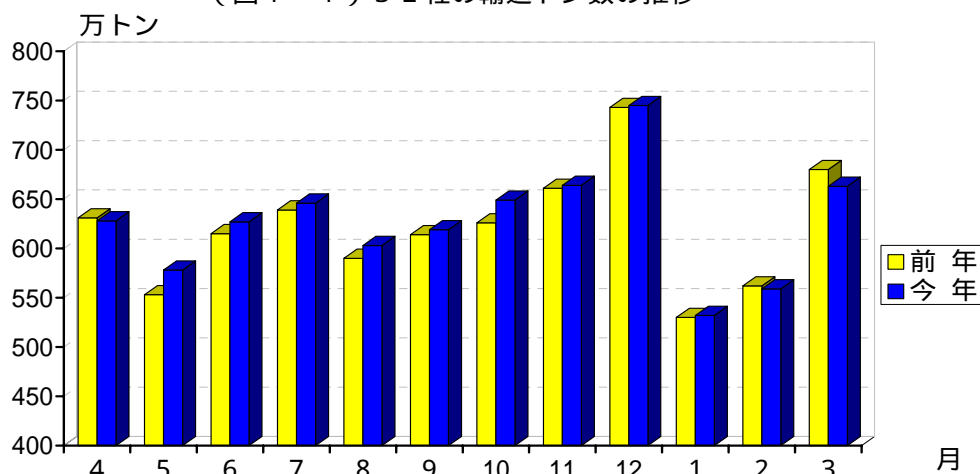
(1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、6,629,530トンで、前月と比べ総輸送量が約104万トン増加したため、前月比118.6%（季節調整済み98.3%）となり、前年同月との比較では、約17万トン減少したため、前年同月比97.5%の実績であった。

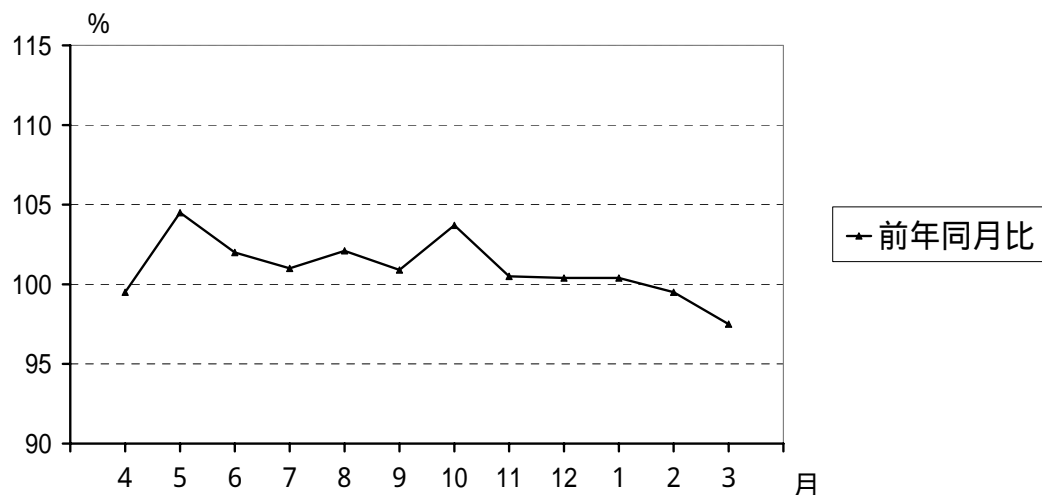
なお、平均稼働日数は25.1日で、前月と比べ2.7日の増加、前年同月と比べ0.2日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、264,125トンで、前月と比べ約1万5千トン増加したため、前月比105.8%となり、前年同月との比較では、約5千トン減少したため、前年同月比98.2%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

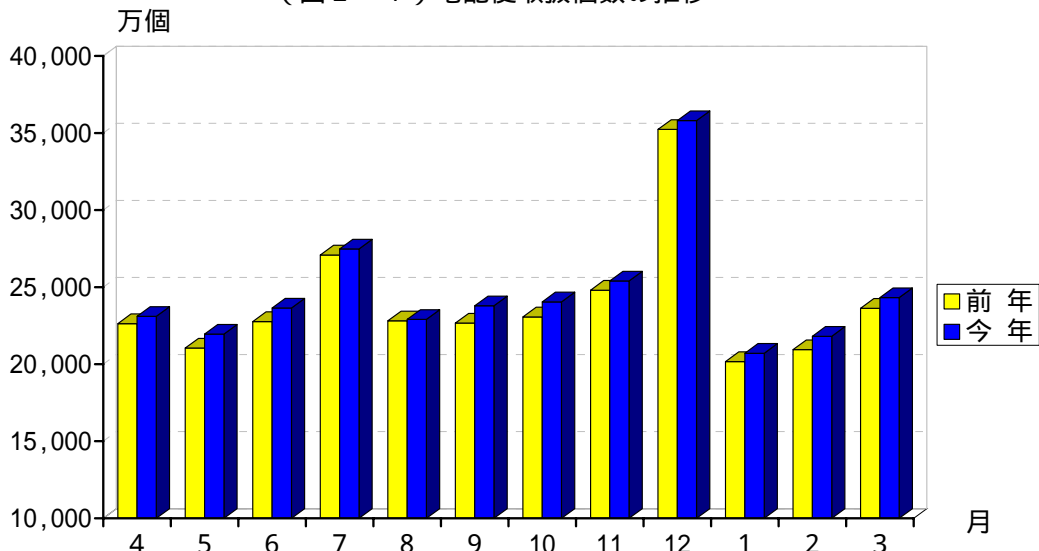


(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、243,169 千個で、前月と比べ約 2,509 万個増加したため、前月比 111.5% (季節調整済み 98.5%) となり、前年同月との比較では、約 686 万個増加したため、前年同月比 102.9% の実績であった。

(図2-1、図2-2参照)

(図2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、稼働日数が増加し、年度末に伴う需要増により、貨物量が増加した。品目別では、全ての品目で増加回答が多かった。増加要因としては、主に工場・生産地からの貨物増、倉庫から出る貨物増及び季節的需要増であった。地域的には、「農水産品」を除く全ての品目で全国的に増加した。

前年同月と比べると、貨物量は 2 ヶ月連続で減少した。品目別では、「その他」を除く全ての品目で減少回答が多かった。増減要因としては、工場・生産地からの貨物減及び倉庫から出る貨物減が多かった。地域的には、「機械」が神奈川、中国を中心に増加し、「その他」が全国を中心に増加した。一方、「金属製品」が中国、福岡で、「機械」が東北で、「食料工業品」が兵庫、中国、四国を中心にそれぞれ減少し、「化学工業品」及び「日用品」は全国的に減少した。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因
	著増	増	変らず	減	著減			
前 月 に 比 べ て	農水産品		2	15	1			
	金属製品	1	8	20		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、兵庫	4, 7, 8
	機械	1	12	13		電気機械、その他の機械、機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
	化学工業品	1	16	11	1	塗料、合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、四国、福岡	4, 7, 8
	繊維工業品	1	6	22		織物	東北、関東地方、愛知、大阪、中国	4, 7, 8
	食料工業品	1	12	11	3	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、四国、福岡	4, 8
	日用品	4	12	11	2	書籍・印刷物、文具、その他の日用品	東北、関東地方、北陸信越、愛知、大阪、兵庫、中国、全国	4, 5, 7, 8
	その他	3	7	16	2	宅配便	関東地方、愛知、大阪、兵庫、中国、全国	4, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1		13	3			
	金属製品			22	4	その他の金属製品	中国、福岡	4, 7
	機械	1	2	15	8	その他の機械、機械部品	神奈川、中国	
	化学工業品	1	1	21	7	その他の化学工業品	神奈川、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	7
	繊維工業品		2	24	3			4
	食料工業品		1	17	9	その他の食料工業品、加工食品	兵庫、中国、四国	4, 7
	日用品		3	16	10	その他の日用品		
	その他		6	18	4	書籍・印刷物、その他の日用品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、四国、九州	1, 4, 7, 9
					宅配便、百貨店配送品	全国	2	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2 . 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 798 社 / 調査対象事業者数 1,069 社）の輸送量は、前月比 108.9%、前年同月比 100.1%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前月比	108.9%	104.7%	109.9%	109.4%	111.6%	107.6%	109.7%	112.4%	108.1%	113.6%	120.2%
前年同月比	100.1%	99.5%	99.6%	101.7%	96.9%	98.3%	102.3%	101.9%	98.1%	101.7%	109.7%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比は 104.7%、対前年同月比は 99.5%であった。品目別には、本月は決算期・年度末ということもあり、「食料工業品」や「日用品」、「取り合せ品」（引越荷物）が、農作業シーズンを控えて「化学肥料」、「動植物性飼・肥料」が、その他「木材」等の輸送量が増加した。一方、排雪作業が概ね終了したことによる「廃棄物」（排雪）が大幅に減少し、季節的需要減のため、「揮発油」、「その他の石油製品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降は横這い傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 109.9%、対前年同月比 99.6%であった。品目別には、引越に関連する季節的需要増による「取り合せ品」のほか、「食料工業品」、「その他の製造工業品」、「動植物性飼・肥料」等多数の品目の輸送量が増加した。一方、「鉄鋼」（3ヶ月連続）「その他の窯業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 109.4%、前年同月比は 101.7%であった。品目別には、季節的需要増により「化学肥料」、「取り合せ品」が、その他「金属製品」、「その他の製造工業品」、「その他」等の輸送量が増加した。一方、「食料工業品」、「廃棄物」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 111.6%、対前年同月比は 96.9%であった。品目別には、「砂利・砂・石材」、「揮発油」、「化学薬品」、「その他の化学工業品」、「取り合せ品」、「その他」等の輸送量が増加した。一方、「石炭」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 107.6%、対前年同月比は 98.3%であった。品目別には、季節的需要増により「紙・パルプ」、「食料工業品」、「日用品」が、その他「木材」等の輸送量が増加した。一方、「その他の農産品」、「動植物性飼・肥料」、「取り合せ品」、「その他」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 109.7%、対前年同月比は 102.3%であった。品目別には、季節的需要増により「食料工業品」（飲料）「日用品」（教科書）が、その他「機械」、「その他」等の輸送量が増加した。一方、「廃棄物」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 112.4%、対前年同月比は 101.9%であった。品目別には、年度末にあたり公共工事の増加により「木材」、「金属製品」、「機械」、「セメント」が、送別会のシーズンであるため、「食料工業品」（飲料）が、その他「日用品」、「取り合せ品」等の輸送量が増加した。一方、「廃棄物」の輸送量が減少した。今後の輸送の見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 108.1%、対前年同月比は 98.1%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」（キウイ）「食料工業品」、「取り合せ品」（引越）等の輸送量が増加した。一方、「日用品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 113.6%、対前年同月比は 101.7%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」、「動植物性飼・肥料」、「取り合せ品」が、建設関係の需要増により「砂利・砂・石材」、「セメント」、「その他の窯業品」、「廃棄物」が、その他「紙・パルプ」等の輸送量が増加した。一方、「機械」の輸送量が減少した。今後の輸送の見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比で 120.2%、対前年同月比は 109.7%であった。品目別には、年度末の季節的需要による「取り合わせ品」（引越し貨物）の輸送量が増加し、その他 6 品目の輸送量も増加した。一方、「金属くず」（スクラップ）の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降は横這い傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局											全国計
		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄		
1. 穀物	増		2		1			2			1	6	
	減		2					1				3	
2. 野菜・果物	増		1		2			1	3	10		17	
	減		1		1				1	2		5	
3. その他の農産品	増	2		1					1	1	1	6	
	減	1				1				1		3	
4. 畜産品	増	1								1		2	
	減	2										2	
5. 水産品	増		1					2	1	1		5	
	減	3										3	
6. 木材	増	5			1	2		1		2		11	
	減	1			1							2	
7. 薪炭	増												
	減												
8. 石炭	増					1						1	
	減	1			1							2	
9. 金属鉱物	増												
	減												
10. 砂利・砂・石材	増	4	2		4			1		7		18	
	減	6			1			1		1		9	
11. 工業用非金属鉱物	増	1	2						1	1		5	
	減	1										1	
12. 鉄鋼	増					1	1	2	1	3		8	
	減	2	3					1				6	
13. 非鉄金属	増				1		1					2	
	減												
14. 金属製品	増	2	1	4	1		1	4		2		15	
	減			1	1			1				3	
15. 機械	増	2		1	1	1	3	3	1	2		14	
	減						2	1		3		6	
16. セメント	増	1	2					2		7		12	
	減	2	1					1		2		6	
17. その他の窯業品	増		1			1	1	1		4		8	
	減		2									2	

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増				2				1	
	減	2										2
19. その他の石油製品	増	1	1	2	2			1	1			8
	減	2	1	1	1							5
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1			1		1		3
	減											
21. 化学薬品	増		1		2			2		1		6
	減									1		1
22. 化学肥料	増	2	1	2	2			1	1	2		11
	減			1	1					2		4
23. その他の化学工業品	増	1	1		2		1	3	1			9
	減							1				1
24. 紙・パルプ	増		2	1		3	1	2	2	5	1	17
	減			1								1
25. 繊維工業品	増						1					1
	減						1					1
26. 食料工業品	増	2	4			1	4	5	4	1	1	22
	減		1	1				1		1		4
27. 日用品	増	2	1	1		2	1	4		2		13
	減					1		1	1	2		5
28. その他の製造工業品	増		3	4			1	2				10
	減		1	1			1	2				5
29. 金属くず	増											
	減										1	1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	4	3	1				1		4	1	14
	減					1						1
32. 廃棄物	増	1	1							3		5
	減	9		1			1	2				13
33. 輸送用容器	増	1								1		2
	減											
34. 取り合せ品	増	2	7	2	2			3	3	3	4	26
	減					1						1
35. その他	増		1	12	4		4	2	1	3	1	28
	減	6		1		1		1				9